

急性呼吸器感染症(ARI)病原体定点について

目的

- 各感染症の患者数や病原体等の発生数を集計し、国内の急性呼吸器感染症（ARI）の発生の傾向（トレンド）や水準（レベル）を踏まえた、流行中の呼吸器感染症を把握すること

→病原体ごとの陽性率を把握し、正しい流行状況を把握する

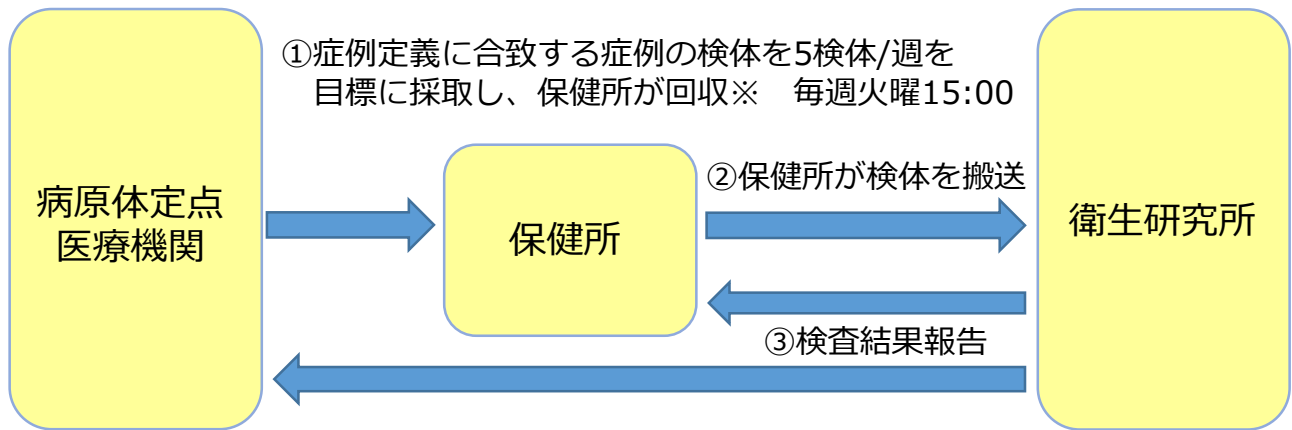
これまでの病原体定点では検査陽性の検体のみを収集しており、陽性率算出に必要な検査実施数が把握困難であったため、ARI病原体定点では医療機関での結果を問わず、症例定義に合致する症例の検体を収集する

【急性呼吸器感染症（ARI）の症例定義】

- 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例
※「発熱の有無」を問わない

【急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点のフロー】

（フロー図）



※状況に応じて医療機関が検体を保健所に持込

【採取検体】

- 鼻咽喉ぬぐい液（推奨）又は鼻腔ぬぐい液

【衛生研究所での検査項目】

- | | | |
|----------------------|-----------------|----------------|
| ■ A型インフルエンザウイルス | ■ B型インフルエンザウイルス | ■ SARS-CoV-2 |
| ■ ヒトパラインフルエンザウイルス1～4 | ■ RSウイルスA型/B型 | ■ ヒトメタニューモウイルス |
| ■ ライノ/エンテロウイルス | ■ アデノウイルス | |

【検査結果の還元】

急性呼吸器感染症（ARI）病原体サーベイランスの結果については、北海道感染症情報センターホームページにて公表予定